

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	交通計画課担当課長 若林 篤	
まち-07	実施事業	放置自転車防止事業	自治事務	主管課 交通計画課
			法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	駐輪対策の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。
効果	駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。 ・放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。 ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び放置自転車等保管場所の警備を委託した。 ・保管期間が経過した自転車等のうち、リサイクルされないものの処分を委託した。 ・鎌倉駅西口の駐輪需要に対応するため、市役所敷地内に暫定駐輪場の設置及びそれに伴う指定管理者の選定業務を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人口 177,243人	176,869人	人口 176,466人		・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数 80,676世帯	80,928世帯	世帯数 81,150世帯		
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	41,988	50,660	当初予算(千円)	45,810
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	16,159	15,726	その他	18,066
	一般財源	25,829	34,934	一般財源	27,744
	人員配置数	2.0	2.0	人員配置数	2.0
事業経費運営	人件費(千円)	15,377	15,649	人件費(千円)	15,671
	総事業費(千円)	57,365	66,309	総事業費(千円)	61,481
	市民1人当りの経費(円)	324	375	市民1人当りの経費(円)	348
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済 ○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉・大船警察、(公財)自転車駐車場整備センター
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・駐輪場用地の確保及び整備には、予算規模の拡大が必要だが、補助金の活用や関係事業者との協議により、費用の削減に向けて努めていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・放置自転車等をなくすためには、継続的にマナーを守る意識の高揚を図っていくことが必要不可欠であり、事業を廃止・休止した場合、放置自転車等が増加することは容易に想定され、市民生活への影響は大きい。 ・自転車等が放置されない環境づくりは、本市総合計画の将来目標である「安全で快適な生活が送れるまち」を目指す上での貢献度は大きい。 ・警告札の貼付、放置禁止区域の周知、自転車等駐車場の利用の呼びかけを継続的に行うことで、放置台数は減少傾向にあり、事業の成果は出ているが、いまだに放置自転車等が散見されることや、多数の駐輪場待機者がいることを踏まえると、駐輪場用地の確保及び整備について長期的な課題として取り組んでいくなど、更なる努力が必要である。	

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・放置自転車等防止対策によって放置自転車等の台数は年々減少しているが、更なる改善を図るためには、特に鎌倉駅西口や大船駅東口における駐輪場用地の確保及び整備が課題である。 ・買物客などの店舗利用者による歩道等への一時駐輪への対策として、放置禁止キャンペーンを行っているが、引き続きマナーを守る呼びかけを継続的に行うことが必要である。		
課題解決のために行った平成28年度の取組	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="322 154 1305 246"> ・放置自転車等防止対策として警告、移動をするとともに、プランター等の設置により放置しづらい環境づくりを実施した。 ・JR鎌倉駅及び大船駅周辺の自転車等放置禁止区域には、監視員を平日8時から17時まで常時配置し、日曜日は月2回同時時間帯での監視を行った。 ・老朽化した大船駅西口自転車等駐車場の建替え工事を先行供用を開始した。 ・鎌倉駅西口の駐輪場待機者の削減に向け、市役所敷地内において指定管理者による暫定自転車駐車場を整備した。 </td><td data-bbox="1305 154 1479 246"> ☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決 </td></tr> </table>	・放置自転車等防止対策として警告、移動をするとともに、プランター等の設置により放置しづらい環境づくりを実施した。 ・JR鎌倉駅及び大船駅周辺の自転車等放置禁止区域には、監視員を平日8時から17時まで常時配置し、日曜日は月2回同時時間帯での監視を行った。 ・老朽化した大船駅西口自転車等駐車場の建替え工事を先行供用を開始した。 ・鎌倉駅西口の駐輪場待機者の削減に向け、市役所敷地内において指定管理者による暫定自転車駐車場を整備した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
・放置自転車等防止対策として警告、移動をするとともに、プランター等の設置により放置しづらい環境づくりを実施した。 ・JR鎌倉駅及び大船駅周辺の自転車等放置禁止区域には、監視員を平日8時から17時まで常時配置し、日曜日は月2回同時時間帯での監視を行った。 ・老朽化した大船駅西口自転車等駐車場の建替え工事を先行供用を開始した。 ・鎌倉駅西口の駐輪場待機者の削減に向け、市役所敷地内において指定管理者による暫定自転車駐車場を整備した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決		
未解決の課題、新たな課題とその理由	・放置自転車等防止対策によって放置自転車等の台数は年々減少しており、更なる改善を図るため、市役所敷地内に暫定自転車駐車場を整備したが、大船駅周辺においては、依然として駐輪場が不足しており、新たな駐輪場用地の確保と整備が課題である。 ・買物客などの店舗利用者による歩道等への一時駐輪への対策として、放置禁止キャンペーンを行っているが、引き続きマナーを守る呼びかけを継続的に行うことが必要である。		

比較事項	条例により放置防止対策を実施している自治体								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	・放置自転車等防止対策は、ほとんどの自治体が条例に基づき実施しており、市民生活にも大きな影響を及ぼすものであるため、引き続き実施する必要がある。
---------------------------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	・放置自転車等保管場所に持ち込まれた放置自転車等の年間総数は、本事業の実施により、年々減少傾向にある。引き続き事業を継続することで、歩行者が安心して歩ける空間の確保を目指す。
------------------------------	--